

令和6年度		こども園評価書		堺市立浜寺石津こども園	
教育・保育理念 ・自分も友だちも大切にする心の育成・学びの芽の育成・自分の可能性や能力の発揮				令和6年度重点目標 ・主体的に遊べる環境作り ・安心でき居心地のよい環境作り ・小学校と連携し、学びと育ちをつなげる ・地域とのつながりを深める ・職員の資質向上をめざす	
園の重点項目 ・こどもたち一人ひとりを大事にし安全安心な生活の中で主体的に環境と関わり夢中になって遊べるようにする					
重点目標	重点目標に向けた具体策	評価項目	自己評価	こども園関係者評価	
主体的に遊べる環境作り	こどもが主体的に遊べる環境を学び実践する	・こどもの姿や発達過程に応じ、多様な環境づくりを行う。 ・環境の実践を通してこどもの姿や関わり方の振り返りを行いながら教育・保育につなげていく。	A A	A A	・一人ひとりのこどもを大切にしたい温かい環境の中でこどもたちの主体性を重視した保育を行うことができていると思います。また、非認知能力の育成に力を注いでいるところもすばらしいと思います。 ・一回だけでなく変化等をつながりながら繰り返しあそぶことで楽しさが感じられ、自信にもつながっていると思います。 ・経験したことや自分なりの考えを言葉などで表現することを大切にされていると感じました。 ・園庭や菜園を活用した自然の取り組みがしっかりとされていてよかったです。 ・各クラスで先生方がこどものことをよく見て、しっかり関わってくれているのが伝わってきました。
	こどもの興味や関心・気づきなど数値化しにくい成長が見えるフォトニュース作り	・主体的に遊ぶ教育・保育の取り組みを可視化して保護者に知らせ、こどもの成長を共感し合う。 ・フォトニュース作成を通して、こどもの気づきや遊びの工夫する姿などに気づき職員間で共有する。	A A		
	こどもの興味や関心、発達、季節に応じた環境の中で、友だちと一緒に身体を動かし、遊び、楽しみを感じられるようにする。	・全身や指先を使った遊びを十分に楽しみ、達成感を味わえる取り組みを工夫する。	A		
		・自然とのふれあいや実体験を大切に、生活や遊びの中で学びに向かう芽を育てる。	A		
		・季節を感じ、生活を豊かにする取り組みや、成長を喜び合う行事を行う。	A		
		・生活や遊びの中で、言葉のやりとりを通じて、豊かな言葉の表現を養う。	A		
		・心を動かす出来事に触れながら、描画や音、動きで感性豊かに表現することを喜ぶ実践を展開する。	A		
作り心地のよい環境	自己肯定感が感じられるような場の設定や保育教諭の関わりをおこなう	・保育教諭との温かいふれあいを通して、愛着関係を育み、安心して気持ちを表現し、意欲的に生活する力につなげる。	A	A A	・異年齢の交流や地域との交流を通して、こどもたちの自己肯定感が高まっているところがすばらしいと思います。 ・一人ひとりを大切に保育されていると思いました。 ・こども園内のクラスの違うきょうだいの様子も先生方が把握されていて、連帯を感じました。 ・キッズビューで登降園確認、連絡、写真販売もできるように、とても保護者に便利なシステムになりました。
		・園児の表現や行動を前向きにとらえ、見守りながら思いをうけとめ自尊感情を育てる。	A		
		・職員同士が連携し、こどもにとっての視点で話し合い、豊かに関わる。	A		
		・友だちとの関わりの中で、お互いのことを認め合う関係づくりをおこなう。	B		
		・異年齢交流や様々な経験を通して、協調性や思いやりの心を育てる。	B		
	家庭と連携し、基本的な生活習慣の定着を図る	・一人ひとりの家庭状況や発達状況を理解し、保護者の気持ちに寄り添いながらこどもが基本的な生活習慣を身に付け、安心して心地よく過ごせるようにする。 ・健康で安全な生活が送れるように環境を整えたり、生命の大切さを伝えたりして、安全教育を行う。	A A		
小学校との連携を密にし、つながりを深めていく	・小学校の施設の利用、参観、子ども大会交流、おたより交流などを通じてつながりを深めたり、教員との意見交流などの連携を通し、教育・保育の質の向上を図る。 ・乳幼児につけたい力が小学校以降の学びにつながるような指導計画を作成し、一人ひとりの園児の育ちについて、小学校と情報の共有をし、円滑な接続につなげる。	B B	A B	・幼小のこども達の交流に加えて教職員の交流を深めていくためにも相互参観や合同研修会等ができるよいと思います。 ・小学校が隣接しているので交流もありよいと思いました。	
	園庭開放などを通して遊びの場の提供や子育て情報を発信し、地域の保護者とつながっていく	・地域の子育て関係機関と連携し、こども園としての役割を果たすと共に、交流を深めたり園庭開放、ほっと預かり、リフレッシュ預かりなどを通して地域の保護者と関係を築く。			B
中学校の職場体験や3園交流、地域との交流をすすめる	・散歩先で出会う地域の方との関りを大切にしたリ、地域の関係者や団体と連携を図りながら防災訓練に参加したり、地域と共に子育てをすすめる。	A	A	A A	・子育て広場で園の先生が保護者と関わっていただき感謝しています。地域の方はいきいきサロンでこどもたちとの交流を楽しみにしています。 ・合同避難訓練を通してこどもたちの元気な姿が見れてよかった。 ・地域の方との合同避難訓練が無事に実施されてよかったです。
	教育・保育の向上をはかる	・自己評価を通して、教育・保育を振り返り、自己研鑽を積極的におこなう。 ・公開保育や研修、研究授業に積極的に参加し、学びを深めとともに専門性を高める。			
今後の取り組むべき課題					
課題		具体的な取組方法			
安心して過ごし主体的に遊べる環境づくり		・生活に見通しが持てる視覚支援を行い、こどもの育ちや学びを写真を用いて可視化し、職員間でこども理解を深める。 ・園内研修で職員が教育保育を振り返って話し合い、こどもたちが主体的に遊べる関わり工夫や環境の見直しを行う。			
小学校や地域の人との定期的な交流		・こどもたちが地域の人と様々な場所で交流できるよう各年齢の教育・保育内容に応じた計画を作成し、実践する。 ・小学校教員や関係機関職員と連携して情報交換や意見交流を行い、小学校との接続についての具体的な取り組みを検討する。			
		園長より こどもが主体的に活動できるよう教育・保育を工夫し、ひとり一人の育ちを保護者の方と懇談会等で共有してきました。引き続き、安全な環境を整え、異年齢交流や小学校、地域の方との交流を深めて教育・保育の充実に努めます。			